

国立大学法人島根大学経営協議会（第44回）＜議事要録＞

日 時 平成23年6月23日（木）15：35～17：35
場 所 医学部5階大会議室
出席者 山本学長，宅和理事，三宅理事，柴田理事，小林理事，両角理事，江口理事
有澤委員，梶田委員，中村委員，福島委員，間宮委員
〔陪席：山崎監事，足立副学長〕

- 会議に先立ち，経営協議会学外委員による医学部附属病院新病棟及び医学部教育・研究施設の視察を行った。
- 学長が出張のため，帰学までの間（報告事項2まで）宅和理事が議長を務めた。
- 平成23年4月に就任した両角理事を紹介した。

報告事項1. 第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価の結果について

- 国立大学法人評価委員会から通知のあった第1期中期目標期間の業務の実績に関する評価結果について，宅和理事から資料により報告があった。

報告事項2. 寄附講座の設置について

- 本年10月に大田市からの寄附により設置を予定している医学部総合医療学講座及び大田総合医育成センターについて，小林理事から資料により報告があった。

報告事項3. 平成23事業年度長期借入金借入申請に伴う抵当権の設定について

- 医学部附属病院の施設，設備の整備に係る平成23事業年度の長期借入金借入申請に伴う抵当権の設定について，事務から資料により報告があった。

報告事項5. 平成23年度監査計画について

- 平成23年度の監事監査及び内部監査の実施計画について，山崎監事から資料により報告があった。

報告事項6. 学生の就職状況について

- 5月1日現在で集計した平成23年3月卒業者の就職状況について，足立副学長から資料により報告があった。また，オープンキャンパス等で配布する入試センター，教育開発センター及びキャリアセンター作成のリーフレットについて，三宅理事から紹介があった。
- 委員から，就職状況が改善されていることは大変評価できる。就職状況の改善が教育の質の向上に繋がり，ひいては優秀な学生の確保に繋がるので，教員・公務員への就職者数の増加も含め，就職状況の改善をもっとアピールすべきであるとの意見があった。

議 題1. 平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について

議 題2. 平成22年度期末決算について

報告事項4. 平成22事業年度期末監査報告について

- 国立大学法人評価委員会に提出し，同委員会による年度終了時の評価を受ける平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）について，宅和理事から資料により説明があった。
- 続いて，文部科学大臣に提出し承認を受ける平成22年度の財務諸表，決算報告書，事

業報告書及び監査報告書について、平成22事業年度の本学の財務状況をまとめた参考資料を中心に事務から説明があった。

- 併せて、平成22事業年度期末監査の結果について、山崎監事から報告があった。
- 以上、議題2件及び報告事項1件について説明・報告があった後、質疑応答及び意見交換が行われ、審議の結果承認された。なお、出された意見等を受けた平成22事業年度に係る業務の実績に関する報告書（案）の最終調整については、役員会に一任することとした。
- 委員から、地域医療の充実に向けた取り組みはすばらしいが、現在も島根県西部では出産件数を制限するなど医師不足が深刻な問題となっている。地域枠推薦により入学した学生の県内への定着など、10年後も県内に医師が残るような体制を整えて欲しいとの意見があり、学長及び小林理事より地域医療の充実は本学としても最重要課題として位置付けている旨、説明があった。
- 委員から、学生の正課外活動を大学として積極的に評価する仕組みを取り入れており、これが成績向上に繋がるなど成果も上がっているのを、国立大学法人評価委員会に提出する報告書にもそれがわかるような記載内容とした方が良いのではないかとこの意見があり、宅和理事より報告書の内容について再検討したい旨、説明があった。
- 委員から、中期計画「正規の授業以外で学生が英語を学べる学習環境の改善と英語学習支援を強化する」について、大学としての様々な取り組みに対する成果等が記載されているが、学生側からの評価にも十分配慮して欲しいとの意見があった。
- 委員から、教育学部附属幼稚園、小・中学校では、従来と異なる一貫教育の在り方について、教育学部と共同で取り組む体制が必要であるとの意見があった。

議題3. 平成24年度概算要求について

- 平成24年度特別経費（プロジェクト分、基盤的設備等整備分）、組織整備計画及び施設整備事業に係る概算要求事項について、事務から資料により説明があり、審議の結果承認された。なお、特別経費（プロジェクト分）新規分の絞り込み及び今後の折衝等による要求額の変更については、役員会に一任することとした。

その他.

- 委員から、リニューアル後の大学公式ホームページについて、以前に比べ見易くなり、また、日本語版だけでなく中国語・韓国語・英語版も用意されるなど、非常に改善されたとの意見があった。